

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 6 部門第 3 区分
【発行日】 令和 5 年 4 月 28 日 (2023.4.28)

【国際公開番号】 WO2022/044315
【出願番号】 特願 2022-545247 (P2022-545247)
【国際特許分類】
G 0 6 N 2 0 / 0 0 (2019.01)
【 F I 】
G 0 6 N 2 0 / 0 0

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 5 年 2 月 15 日 (2023.2.15)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

判別分析の目的関数における各判別結果のスコアを示す各項に、当該各判別結果のスコアの偏重度合いを示すパラメータである偏重パラメータを乗じた拡張目的関数の入力を受け付ける入力手段と、

前記拡張目的関数のロジスティック回帰の重みを最適化する最適化手段と、

最適化された重みが設定された前記ロジスティック回帰の拡張目的関数を用いて、逆強化学習により、前記偏重パラメータを推定する推定手段とを備えたことを特徴とする学習装置。

【請求項 2】

入力手段は、拡張目的関数として、二値判別分析の目的関数における第一の判別結果に基づくスコアを算出する項と、第二の判別結果に基づくスコアを算出する項のそれぞれに、偏重パラメータを乗じた拡張目的関数の入力を受け付ける

30

請求項 1 記載の学習装置。

【請求項 3】

入力手段は、拡張目的関数として、交差エントロピー誤差関数における各判別結果のスコアを示す各項に偏重パラメータを乗じた拡張目的関数の入力を受け付ける

請求項 1 または請求項 2 記載の学習装置。

【請求項 4】

最適化手段は、拡張目的関数のロジスティック回帰の重みを、当該ロジスティック回帰の重みの偏微分を用いた勾配降下法で更新して最適化する

請求項 1 から請求項 3 のうちのいずれか 1 項に記載の学習装置。

40

【請求項 5】

推定手段は、意思決定履歴データから意思決定内容を推定し、逆強化学習により、推定された意思決定内容を前記意思決定履歴データに近づけるように偏重パラメータを推定する

請求項 1 から請求項 4 のうちのいずれか 1 項に記載の学習装置。

【請求項 6】

コンピュータが、判別分析の目的関数における各判別結果のスコアを示す各項に、当該各判別結果のスコアの偏重度合いを示すパラメータである偏重パラメータを乗じた拡張目的関数の入力を受け付け、

前記コンピュータが、前記拡張目的関数のロジスティック回帰の重みを最適化し、

50

前記コンピュータが、最適化された重みが設定された前記ロジスティック回帰の拡張目的関数を用いて、逆強化学習により、前記偏重パラメータを推定することを特徴とする学習方法。

【請求項 7】

コンピュータが、拡張目的関数として、二値判別分析の目的関数における第一の判別結果に基づくスコアを算出する項と、第二の判別結果に基づくスコアを算出する項のそれぞれに、偏重パラメータを乗じた拡張目的関数の入力を受け付ける

請求項 6 記載の学習方法。

【請求項 8】

コンピュータに、

判別分析の目的関数における各判別結果のスコアを示す各項に、当該各判別結果のスコアの偏重度合いを示すパラメータである偏重パラメータを乗じた拡張目的関数の入力を受け付ける入力処理、

前記拡張目的関数のロジスティック回帰の重みを最適化する最適化処理、および、最適化された重みが設定された前記ロジスティック回帰の拡張目的関数を用いて、逆強化学習により、前記偏重パラメータを推定する推定処理

を実行させるための学習プログラム。

【請求項 9】

コンピュータに、

入力処理で、拡張目的関数として、二値判別分析の目的関数における第一の判別結果に基づくスコアを算出する項と、第二の判別結果に基づくスコアを算出する項のそれぞれに、偏重パラメータを乗じた拡張目的関数の入力を受け付けさせる

請求項 8 記載の学習プログラム。

10

20

30

40

50